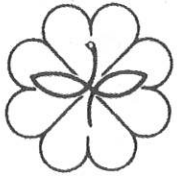


# みんなの堺

第 56 号

発行 平成27年6月  
堺市民生委員会  
発行 児童委員連合会  
住所 堺市堺区南瓦町2番1号  
電話 072-232-5420  
発行 堺市民生委員会  
責任者 児童委員連合会  
会長 中村孝二



## 支え合う心で広がる福祉の輪

### 特集:高齢者の見守り活動



#### さかい利晶の杜

堺の歴史文化の魅力を体感できる文化観光施設。平成27年3月オープン。千利休・与謝野晶子をテーマとする文化施設。堺観光の玄関口となる観光案内施設。(堺区宿院町西2丁1-1)

### 新年度のスタートにあたり

近年の高齢者福祉については、介護保険法等を中心とした法律や関係施設の整備等により充実したものになっていますが、反面、認知症高齢者の問題、孤独死、虐待等の課題も山積しています。また、介護保険制度の改正に伴い、今後は健康な高齢者の活用や引きこもり防止、生きがいづくり等が積極的に行われることと思います。

一方、我々民生委員児童委員は、従来より支援を必要とする人たちに対して「見守り」「声かけ」「専門機関の紹介・つなぎ」等の活動を行っており、こ

のことが活動の原点であると再認識しています。今年の4月からは、生活困窮者自立支援法が施行され、子ども・子育て支援新制度もスタートしました。民生委員児童委員はその一翼を担うとともに、更なる積極的な活動が求められるものと思います。

地域で連携した支え合い・助け合い等の活動により、社会的に弱い立場にある方々が少しでも暮らしやすくなるよう、尽力していきたいと思ひます。

連合会副会長 武部 純子



# 就任のごあいさつ



このたび、堺市長寿社会部長に就任いたしました隅野でございます。

民生委員児童委員の皆様には、平素より地域でさまざまな生活課題を抱える市民の良き相談者・支援者として活動をしていただき、厚くお礼申し上げます。

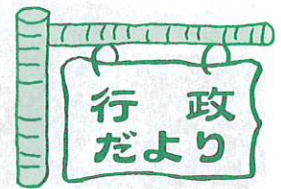
また、平成24年度から実施しております災害時要援護者の訪問調査につきまして、多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今年度からは、名称を避難行動要支援者に改めまして、引き続き、取組みを進めてまいりたいと考えております。

さて、少子高齢化が進展する中、経済的困窮や社会的孤立など、既存の枠組みでは対応できない課題が増加しております。そのような中、今年度は介護保険制度の改正や、「生活困窮者自立支援法」の施行、「子ども・子育て支援新制度」の実施

堺市健康福祉局長寿社会部 部長 **隅野 巧**

などに伴い、福祉制度が大きく変わる年であります。本市としましては、本格的に実施する生活困窮者の自立に向けた支援事業を含め、支援体制の強化を図り、関係機関とのネットワークづくりに取り組むことで、「地域全体で支え合う福祉の仕組みづくり」を進め、誰もが安心して暮らせるまちの実現に向けて邁進していく所存でございます。

民生委員児童委員の皆様におかれましては、日頃から、市民に一番近いところで見守り活動を行っていただき、行政や関係機関等への橋渡しとしての役割を担っていただいております。今後もより一層のご活躍にご期待申し上げます。また、引き続き、本市の地域福祉の推進にお力添えを賜りますようお願いいたしますとともに、堺市民生委員児童委員連合会の益々のご発展と、民生委員児童委員の皆様の更なるご健勝を心からお祈り申し上げます。

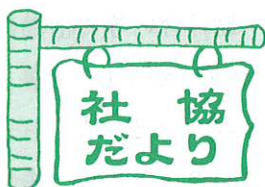


# ごあいさつ



平成27年4月1日付で堺市社会福祉協議会事務局長に就任いたしました安部でございます。

3月末まで堺市職員として36年間福祉行政に携わってまいりましたが、社会福祉協議会はこの数年間で地域福祉にますます大きな役割を担ってきたことを実感しています。



特に近年CSWの配置や基幹型包括支援センター、権利擁護サポートセンターの設置など地

堺市社会福祉協議会 常務理事・事務局長

**安部 勝之**

域生活をしっかりと支えていく仕組みを構築しています。また昨年からの事業をスタートしました生活困窮者自立支援事業も新たなセーフティーネットとして今後ますます重要な位置を占めていくものと認識しております。

こういった中、地域での地道な福祉活動の中核を担っていただいていた民生委員児童委員の役割もますます大きくなっています。私ども社会福祉協議会といたしましても、今後も皆様と共に地域福祉を支えるために努力をしまいる所存ですので、従来と同様ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 古き良きふるさと 金岡

北区 金岡校区 増田 紀夫

古い歴史と伝統の息づく金岡。日本最古の官道といわれる竹内街道の沿道には、寛政3年(1791)制作の木造の狛犬を安置する長曾根神社、平安時代の宮廷絵師「巨勢の金岡」を祀る金岡神社をはじめ、平安・鎌倉時代以降の貴重な文化財を有するお寺があります。

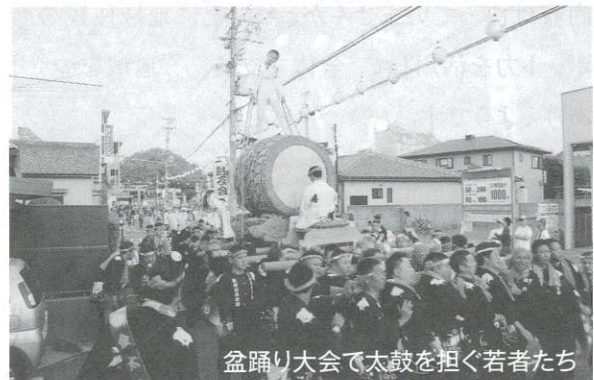
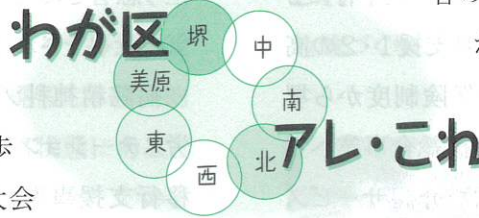
♪ベーら ベーら べらしょっしよ♪の掛け声とともに、11基の大太鼓を担いで各町内を練り歩き、金岡神社で開かれる盆踊り大会は、当校区の一大メインイベントです。盛夏のなか、町内の青年会が中心に太鼓の担ぎ手となり、婦人会・子ども会をはじめ老いも若きも一緒に、日中の暑さを忘れて、ただひたすらに江州音頭を踊ります。昨今、人と人とのふれあいやつながりの希薄化が叫ばれて久しいですが、わが校区ではこの盆踊り大会を通じて、普段あまり顔を会わせない人と話をしたり、孫ほど歳の違う世代が祭りを盛り上げよ

うと心をひとつにして交流を深めます。

このほか、金岡校区福祉委員会や同自治連合会等各種団体による多種多様な催し・イベント(運動会、ゲートボール大会などのスポーツ、幼児らと高齢者とのふれあい活動、自主防災訓練など)が四季を通じて開かれており、その都度、多数の参加者で盛況です。

金田村・長曾根村が「金岡村」になって126年、

昔の姿をしのぶ風景が移ろいでゆくなか、人のつながりを大切にすることは今も変わらず脈々と受け継がれているわがふるさと、金岡。つくづく良き町です。



盆踊り大会で太鼓を担ぐ若者たち

### 堺市民生委員児童委員連合会 役員一覧 (平成26年12月1日～)

役職	氏名	区	校区	担当委員会・連絡会
会長	中村 孝二	堺	浅香山	民生委員児童委員連合会 全般
副会長	中辻さつ子	中	土師	児童福祉委員会(担当役員)
副会長	梁間 久夫	東	登美丘南	生活福祉委員会(担当役員)
副会長	加納 剛	西	向丘	研修・広報委員会(担当役員)
副会長	和歌 宏允	南	赤坂台	総務委員会(担当役員)
副会長	森田 敏治	北	五箇荘	障害者福祉委員会(担当役員)
副会長	武部 純子	美原	八上	高齢者福祉委員会(担当役員)・介護相談員連絡会(担当役員)
会計理事	谷本 正洋	南	晴美台	
会計理事	柳本 正美	美原	平尾	
理事	小倉美津子	堺	錦	総務委員会(副委員長)
理事	信田 禮子	堺	錦綾	障害者福祉委員会(委員長)
理事	藤原 利夫	中	深阪	研修・広報委員会(委員長)
理事	野村 治司	東	南八下	生活福祉委員会(委員長)
理事	寺田 明男	西	浜寺昭和	総務委員会(委員長)
理事	藤井 紘一	西	津久野	高齢者福祉委員会(委員長)
理事	寺田 民子	南	城山台	介護相談員連絡会(担当理事)
理事	松岡 淳子	北	中百舌鳥	児童福祉委員会(委員長)
理事	吉田 正治	北	北八下	障害者福祉委員会(副委員長)
理事	浅田 三男	堺	錦綾	主任児童委員会(委員長)
監事	美濃部重弘	堺	湊西	
監事	森内 啓子	中	福田	



# 専門委員会だより

## 根づかそう “向こう三軒両隣り”を!!

### 高齢者福祉委員会報告

介護保険制度が4月より改正されました。特に2年後の4月からは、一番層の多い要支援1・2の高齢者の介護サービスが今の介護保険制度から堺市が考える介護予防と日常生活支援総合事業へと移行されます。受けられる具体的な介護サービス内容は決っていませんが、今以上に地域住民のサポート力を活用して、全体で支えあう地域をつくりあげようです。

多くの高齢者は地域とかかわっての生活を望んでいます。そのためには地域の関係機関（自治会、福祉委員会、老人会、女性会、子ども会等）が、現支援サービスの利用、また、NPO法人の参画を得て、複合的な地域活動を展開する必要があります。私たち民生・児童委員には、そのコーディネーターとしての役割が求められています。

ひと昔前「向こう三軒両隣り」という言葉をよく耳にしました。「隣りは何をす人ぞ」は悲しいです。もう一度この両隣りは家族の一員であると言う雰囲気地域内に取り戻そうではありませんか!!

私たち民生・児童委員が成し遂げましょう。

(委員長 藤井 紘一)

## 病院で精神疾患患者の 現状を学ぶ

### 障害者福祉委員会報告

12月3日、障害者福祉委員会委員10名は、浅香山病院を訪問して、病院での精神障がい者の患者への治療・社会復帰への取組みと精神障がい者の現状について研修しました。

病院内の患者さんによる患者さんのための喫茶

「デイケアサロン」は約40年前に全国に先駆けて設置されて以来、地域で住む患者さんのサロンとなっています。訪れた委員たちも各自コーヒーや中華そばの食券を買い、調理・ウェイター・食券販売を担う患者さんたちと交流しました。皆さん親切で元気に仕事をされていました。

病院精神科ゾーンの向かいの建物に移動し、就労ステーション「てくてく商会」へ行きました。就労移行支援事業と就労継続支援B型事業を併せもち、精神障がいをもつ方の就職の相談支援と働く場となっています。108円の雑貨と同額の手づくり惣菜の販売をしていますが結構、近所の方に重宝されているようです。

最後に医療福祉相談室ソーシャルワーカーの柏木一恵さんから、「精神疾患患者に対する日本の施策の方向」「統合失調症とは」「精神疾患患者への投薬の今」などについての講演を伺いました。

(委員長 信田 禮子)



デイケアサロンの食券売り場。  
メニューが沢山あります。

## 自立支援法を学ぶ

### 生活福祉委員会報告

3月に研修会を開催しました。

講師に堺市生活援護管理課主幹の阿加井博氏を迎えて「生活困窮者自立支援制度と堺市の取り組み」について講演をしていただきました。

近年、生活保護受給者数は増加の一途をたどっており、特に稼働年齢層である若い世帯の割合が大きく増加しています。そのため生活保護制度と生活困窮者対策を総合的に見直す制度として「生活困窮者自立支援法」が本年4月より施行されることになりました。

制度の目指す目標は

- ①生活困窮者の自立と尊厳の確保
- ②生活困窮者支援を通じた地域づくり

堺市では生活困窮者自立促進支援モデル事業として昨年6月より「すてっぷ・堺」を開設し、経済的困窮や社会的孤立を要因に生活困窮状態にある方に対する自立相談支援や就労支援を開始しています。支援回数は本年2月末で、すでに2,400件（延）を超えています。

平成27年度は本制度が本格的にスタートします。堺市では相談支援員を増員して、自立相談支援を軸に就労支援、住居確保支援、子ども・若者の学習支援など、本人の状況に応じた支援活動に取り組みます。

私たち、民生・児童委員は日常の地域での見守り活動などを通じて社会の支援を必要とする方たちを早期に制度につなぐ役割が求められることとなります。

(委員 坂本 益輝)

## 子ども・子育て 支援新制度スタート 児童福祉委員会報告

子ども・子育て支援新制度が4月からスタートしました。

新制度の目指すものは

- ①認定子ども園、幼稚園、認定保育所への給付
- ②地域型保育への給付
- ③地域の子育て支援の充実

中でも地域の子育て支援は私たち、民生・児童委員にとって重要な課題です。

少子高齢化、核家族化が進む中で、子育て世代が地域や家族から孤立し、子育ての不安や経済的

負担の増加に伴って、虐待や貧困などの深刻な問題も多々発生しています。また、保育所待機児童の増加も地域での子育て支援の重要な課題となっています。

今、未来ある子どもたちの幸せづくりへの取り組みが強く求められています。

私たちは、民生・児童委員として行政機関、校区福祉委員会、連合自治会などとの連携をさらに密にして、今回の新制度の推進と共に子育てに適した地域づくりに少しでも役立ちたいと考えています。

(委員長 松岡 淳子)



## 平成27年度の活動

### 主任児童委員会報告

平成27年度も始まり新年度の活動について7区の主任児童委員長会議を開催しました。

例年は各校区の民生・児童委員会や校区連合自治会などとの共同での事業が多く開催されています。

今年度も各区とも例年通りの事業を予定していますが、各区の特色を生かした取り組みを進めることになりました。

校区の子育て支援活動、子どもの見守り活動などには積極的に参加して、地域の方に顔や名前を覚えてもらい、何でも相談していただけるよう活動していくことも大切です。

4月より子ども・子育て支援新制度も始まりました。主任児童委員活動に関係すると考えられる事業も多く開始されます。地域の子育て世代と行政とのつなぎ役としての役割が求められることになり、行政機関との連携も重要な課題となります。

(委員長 浅田 三男)

## 特集

## 高齢者の見守り活動

担当地域では、夫婦二人とも高齢者の世帯や、ひとり暮らし高齢者の方が年々増加しています。しかも、隣同士の気づきも難しくなっています。私たち民生・児童委員は孤立死などの深刻な事態を未然に防ぐために、日々見守り活動を続けています。平素の見守り活動を交流しあつて、より安心して暮らせる街づくりを目指すために、特集を設定しました。

## あきらめず心をかよわせて

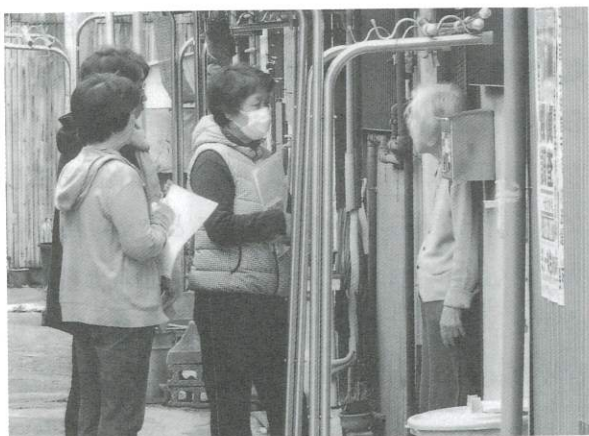
堺区 湊校区 上田 健司

湊校区は堺市の中でも高齢化が進む地域です。そこで以前より当校区では校区福祉委員会のボランティアグループが中心となり、小地域活動推進事業の個別援助活動として「お元気ですか訪問活動」を行っています。ボランティアの数は20数名（民生・児童委員は5名参加）、12グループで活動しています。訪問対象者は75歳以上の夫婦世帯・70歳以上の単身世帯で、対象人数は約150名になり訪問頻度は月1～2回、年間総訪問回数は2,000回余になります。

活動の中で難しいのが自宅に閉じこもりがちな高齢者です。受け入れてもらうのに何年もかかる方もありますが、あきらめずに心をかよわせ、訪問対象者になってもらっています。

訪問活動の情報・問題点等は月1回のリーダー会議において報告・相談しています。また、堺市社会福祉協議会と地域包括支援センターの方にも参加いただき大変感謝しています。

これからも住みよい街「湊」を目指して活動していきたいと思います。



## ほのぼのとした気持ち

西区 鳳校区 龍野 信隆

ピンポン 「はい、どなたですか？」  
「民生委員の龍野と申します」  
「……どんな御用ですか？」  
「災害が起きた時の援護について、ご相談に伺ったのですが」

「今、息子がいないので分かりません・・・」  
ガックリ、気が滅入る瞬間である。

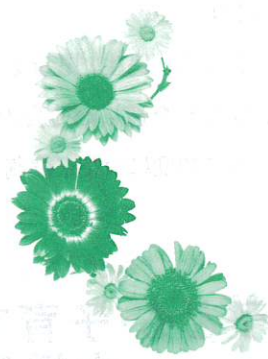
「息子さんは何時頃にお帰りでしょうか？」  
「さあ、分かりません」

『勝手にしやがれ』とは言いません。ぐっとこらえて、今夜か若しくは休みの日に来てみようと言、「また来ます」。

訪問すると百年の知己に会ったように話し始めるお年寄りがいる。足が不自由で、買い物もままならないのに、奥の冷蔵庫から飲み物を玄関先まで運んでくださる。飲まないでいると、帰り際に持って帰れと言う。ありがたくいただいて、ポケットに入れて帰る。ほのぼのとした気持ちを抱いて。

どちらかというと、人との付き合いは苦手であった。人生の大半を無機質な機械と向き合って過ごしてきた。地域のお年寄りとおふれあうようになって、これもいいなと思うようになってきた。気の滅入ることもあり、ほのぼのとした気持ちになることもある。

それがいい。



## 高齢者の見守り活動

## 特集

### 一人の百歩より百人の一步

出典：東区 野田校区 小林 節子

東日本を襲った大震災から4年、当時、多くの人  
が逃げおくれ、津波にさらわれて尊い命を亡くされ  
ました。また、近々きつと来ると言われている南海ト  
ラフ巨大地震だが、私たちが住んでいる地域は幸  
い海から離れているため津波が押し寄せて来ると  
は思われませんが、河川の氾濫や家屋の倒壊、大  
火災など大きな被害が出ると予想されます。

訪問活動で訪れている人は、ほとんどが高齢者  
でひとり住いをされています。耳が聞こえにくい人、  
足腰が弱っていてすぐに立ち上がれない人、チャイ  
ムを鳴らしてから玄関先まで出て来てくれるまで数  
分を要する人など、日常の生活はどうかできても、  
いざ災害が起きた時にとっさの行動はとても困難だ  
と感じています。

私たち民生・児童委員も、日頃から防災訓練や避  
難場所の確認や経路の下見、救助を必要とする人  
たちの住いの位置などを把握し、また一目でわかる  
マップづくりなどもしています。しかし我々だけの力  
ではとても無理で「一人の百歩より百人の一步」と  
言うように地域の役員、住民、関係機関の方々のご  
協力が必要なことは申し上げるまでもありません。  
全員で丸となり「ひとり残らず助け出す」そんな  
体制を整えながら、これからも高齢者の方が安心し  
て住んでいけるように見守り活動を続けていきたい  
と思っています。



### 地域のみんで

出典：南区 槇塚台校区 桑原 宏枝

20年前、VOまきつかグループのスタートと共に、  
高齢者の見守り訪問が始まった。今年の場合、77  
歳以上約800名の方を年2回、昼食交流会のお誘  
いを兼ねて34名のVOメンバーが訪問している。  
勿論、民生・児童委員も同行す  
ることが多い。

グループ援助  
活動については  
年2回の昼食交



流会があり、いきいきサロンも月2回定着してきて  
いる。内容にも変化を持たせ、参加者やスタッフも  
楽しめるよう工夫してきた。

個別援助活動には以前より如何に進めるか苦慮  
してきた。5年前より「お元気ですか声かけ訪問」  
という形が社協より提案され、それに応じ自治連合  
会が呼びかけて訪問して欲しい希望者をピックアップ、  
訪問VOが担当民生・児童委員と協力し月2回  
以上の訪問、訪問記録を月初めに民生・児童委員  
へ提出、年4回の連絡会という形で歩んできた。最  
初、34名の対象者を15名の訪問VOが声かけす  
るという形でスタートしたが、5年の間には亡くなる  
方あり入所する方あり娘宅に転居する方ありで今は  
26名に減ってきている。

声かけをしたくても拒否される方もおられる。近  
所の方に郵便物のたまり具合、照灯や洗濯物など  
気をつけていただくこと、うまく依頼できる場合は  
いいのだが・・・。

認知症と思われる方への対応も難しいけれど、  
「もしものための安心連絡カード」小冊子「見守り  
ガイド」などお配りして住民の協力を得るようにして  
いる。最近、地域ケア会議を持ち情報を共有したが、  
これも進めていきたいと思っている。

## 特集

## 高齢者の見守り活動

## 見守り活動を始めて思うこと

北区 新金岡東校区 小寺 三郎

私が暮らす校区は人口約5,700人、その内65歳以上の高齢者2,180人と非常に高齢化率が高く、全戸が3階建て以上の集合住宅で高齢者の内600人がひとり暮らしである。

見守りは、高齢者や障がいのある方、子育て中の方などを対象にしなければならないが、先に述べた理由で、ひとり暮らしの高齢者、夫婦共高齢者のみをあらゆる情報でピックアップをして見守り活動を始めた。

私ども、民生・児童委員が訪問すると75歳以上の高齢者で「あなたの世話にはならん」と嫌がる方がある。色々話をして活動の趣旨を理解していただき、食事のこと、健康のこと、近くに頼りになる身内はいるかなどを聞き、ひきあげる。私は高齢者より困りごとの相談を受けても全てを解決する知識も能力もない。関係機関に話をつなぎ解決するお手伝いに徹しようと思う。高齢者のなかにはプライドがあるので、なかなか困りごとをいってくれないが、先ず声をかけよう、道で出会ったら挨拶しよう。ムダ話をしているうちに、知人が困っていることを教えてくれるかも知れない。そうして見守りの枠を少しずつ広げていこう。

現在、地域における人間関係の希薄化がいわれている中、人とのつながりが少ない人は困っていることがいえず、深刻な事態を引き起こすことがある。こうした中、民生・児童委員が中心となって地域の見守り活動を進めることによって、深刻な事態を避けることができると期待し、日々、活動に精進している毎日である。



## 目配り 気配り

美原区 黒山校区 上床 忠

最近、高齢者に関わるいろいろな出来事がメディアに取り上げられています。当校区でも高齢でご夫婦二人だけの世帯やひとり暮らしの方が増えてきており、高齢者の方々に対する日頃からの見守りについて、目配りや気配りをしているところで

す。私たちが民生・児童委員は「お元気ですか訪問」の実施をはじめ、老人クラブの行事への積極的な参加や福祉委員会主催の「ふれあい喫茶」「いきいきサロン」等を通じて一緒に楽しみ、考え、行動したりしてその場の雰囲気や話題を共有することに心掛けています。そのお陰で話題にも事欠かなくなり、普段の生活の中でいつ、何処でお会いしても自然と「おはようさん」「こんにちは」とお互い声を掛けあい、距離感が縮まりさまざまな情報が得られるなど有機的に機能しています。

前向きで地域の中に入って楽しんでおられる方の一方で、サークル活動や行事等に参加されない方、お体の事情で外出できない方に対しては、定期的な訪問で状況を把握するよう努めています。

当初は訪問を受け入れてくれるかどうかの不安もありましたが、今ではすっかり定着しており、訪問の際に日常よく使う品物などを持参しますが皆さんから重宝がられ「いつもありがとう」と、お礼を言われます。体調のことやお家での生活ぶり、ご近所さんのお話をお聞きしているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。帰り際にはいつも同じ言葉ですが「またお伺いしますね」「また来てくださいね」のやりとりで失礼します。

高齢化が進むなか、民生・児童委員として出来ることを地域に寄り添い、定着した活動として今後とも暮らしのなかの見守りができるように続けていきたいと思っています。



## 高齢者の見守り活動

## 特集

### あの人は、元気そうだな

中区 東深井校区 嶋中 美佐男

我が校区では、高齢者の見守り活動について、定例会で活動報告をしています。

報告の中で、色々な意見も出ますが、私は、自治会に加入していない高齢者の実態を把握するのが一番大変だなと思っています。

先日、自治会の方から災害時に支援の必要な、ひとり暮らし高齢者を地図に表示してほしいとの依頼を受けました。

私の担当する地域は、昔から住んでいる人が多いので、顔見知りの人が多く、見守りについてもやりやすく、道で顔を合わせると挨拶をかわしたりというようなことで、比較的状況をつかみやすいです。「恵まれた地域で暮らしているな」と思いながら日々を送っています。



月1回の「ふれあい広場」、週2回の「グランドゴルフ」に出向き、「あの人は元気そうだな」と確認するなど、見守り活動を行っています。

他の委員の担当地域でも、同様な活動を行っていますが、マンション等の多い地域では、ひとり暮らし高齢者の状況を把握するのが、大変難しいようです。

ひとり暮らし高齢者の状況を把握し、見守り活動また、災害時における支援活動につなげていくには、まだまだ多くの課題があると思います。

今後も、よりよい状況で見守り活動ができるよう頑張っていきたいと思っています。

### 理事研修に参加して ～子どもを虐待から守るために～

#### 研修・広報委員会報告

何の抵抗手段も持たない、心優しい子どもの命を大人の都合で奪うという悲しい事件が多発しています。

冬の寒い深夜、午前1時頃、10歳ぐらいの子どもが、薄着姿で体を震えさせながら、コンビニに一人で来た。ジュースを買った後、異常な飲み方をする。顔の表情も落ち着いていない。他のお客さんがお菓子をあげると異常な食べ方をする。そこで、

店員がとっさに警察に電話して、子どもを虐待から救ったという報道があった。



私たち、民生・児童委員は「子どもが発するサイン」…日常的生活と違う不自然さに気づく…①顔の表情 ②服装の乱れ ③髪の毛の乱れなど、また、「親の生活態度」①夜間、小さな子どもを放置している ②子どもの叱り方が異常など、異常に気付く感性を養う必要がある。

そのために、自分の住んでいる地域で、子どもと大人の顔の繋がりができる関係が大切です。朝の登校指導、地域の子育て支援活動、学校訪問などで、地域の子どもの状況を知る努力が大切だと思います。

先輩の民生・児童委員によると、朝の登校指導で、子どもの様子がよくわかる。しかも、子どもと仲良くなると、ゴルフなどで、2～3日登校指導を休むと、「この頃顔を見なかったけどどうしたの?」と子どもから声をかけられるそうです。このような子どもと大人の信頼関係が大切だと教えられました。

(委員長 藤原 利夫)

## 資質の向上をめざして

### 総務委員会報告

社会情勢の変化により地域コミュニティの弱体化が指摘されている昨今、認知症高齢者の行方不明、孤立死、子育て世帯の貧困や虐待など対応が急がれる状況です。介護保険法の改正や生活困窮者自立支援法などが制定され、民生・児童委員も活動の飛躍が求められます。

総務委員会においても資質の向上を第一目標に、民生・児童委員の本分である社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立った相談支援、その上に人格識見の向上と職務を行う上に必要な知識及び技術の修得が不可欠となります。

地域住民の福祉ニーズも多様化、複雑化し、福祉の知識並びに技術を完全修得することは困難なことです。可能な限り修得に努めつつ、専門職との連携、協働を進めながら役割分担を図る工夫が重要です。民生・児童委員が厚生労働大臣の委嘱であることの認識と共に、一般の方々にも認識され、ひいては民生・児童委員自身の自覚と社会の理解、信頼を得て民生・児童委員活動の活性化と成果に結び付ける正しい努力を進め、目標達成に一歩近づきたいと思います。

民生・児童委員協議会 総務委員会 (委員長 寺田 明男)

## 管外研修・現任研修を通じて

### 介護相談員連絡会報告



川村義肢株式会社にて

年に1度の管外研修と現任研修を実施しました。管外研修は、大東市の川村義肢株式会社を見学しました。1階ショールームでは様々な福祉用具の体験をさせていただきました。2階の福祉用具展示コーナーには日本で初めて製作された義足などが展示されており、義肢作りの歴史を学ぶことができました。3階では直接身体につける義肢、靴・コルセットなどの補装具、車イスの製作現場を見学し、社員の皆さんの、テキパキとした中にも繊細さが込められた仕事ぶりに大変感心しました。

現任研修では、4月から改正される介護保険制度の最新情報を学びました。相談活動については、相談員同士が悩みを共有しながら相談技術を高めることや、認知症の方へのコミュニケーション技法・具体的な接し方などの講義を受けました。また相談記録や報告書の記入のポイントなど、スキルアップにつながる演習もありました。

今後も研修で学んだことを実践しながら活動を続けていきたいと思っています。

(担当理事 寺田 民子)

## 第20回 堺市民生委員児童委員大会

日時：平成27年6月26日(金)  
午後1時30分開会  
場所：国際障害者交流センター  
(ビッグ・アイ) 多目的ホール  
受付：区単位で12時30分より

### 《第2部》講演

テーマ：「民生委員児童委員活動と生活困窮者支援」  
実践報告：堺市生活・仕事応援センター「すてっぷ・堺」  
講演：大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科 教授 小野 達也氏

## 親父

野田校区 西井 安光

昔、野田村に「正男」と言う腕白坊主がおった。親父の自転車の荷台に乗って、どこに行くのも一緒であった。親父は、厳しく大変厳格な人であった。稲刈りも終わり、刈り取った稲の脱穀の時期で、親父の横で気軽に脱穀機のペダルを踏んでいた。嫌になると、単調な脱穀機の音は、「腹へった飯食わせ、飯食わせ」と叫んでいるように聞こえる。

丁度、中1の秋、そんな時のことであった。親父が病で倒れた。生活は一変した。今までは遊び半分に踏んでいたが、踏んだ踏んだ一日中踏んだ。何千回何万回も三つ上の兄と。取入れが終わると麦の種蒔きのために田おこしをして準備をする。当時は牛で田畑を耕していた。俺がやると、牛は一步も動かない、親父がお手本にやると牛は動くが、親父の体がままならぬ。そんな毎日の連続であった。

そうしたある日のこと、とうとう俺は言った。「ああ嫌になった」と、なんと不用意な言葉を、床に臥せている枕もとで。ところが思わぬ言葉が返ってきた。「正男すまんなあ」と俺に謝った。普段は、口応えなど許すはずもない、あの厳格な父が、何度も烈火の如きに怒り、ゲンコツが飛んでくるあの親父が俺に謝った。動きたくても動けない、歯痒さ、悔しさ、もどかしさ、子どもに対するすまなさが、ないまぜになっていると思うとやるせない。なんと俺はむごい言葉を言ったのか。60年経った今でも父の言葉が耳にのこる。そうして昭和30年、中3の夏休みに父は逝った。



## 心のキャッチボール

さつき野校区 山崎 視紀子

民生・児童委員活動を続けて丸16年。素敵なお人との出会いあり、引越しや死亡などによる寂しい別れも多々ありましたが、優しい言葉や感謝の言葉をいただき励まされてやってこれました。

嬉しかったことを少し書いてみます。

ご近所の外廻りの清掃をしているのですが、軽い障がいのある人が「おばちゃんは何で他所の掃除をしているの」と聞くのです。小学校の子にも聞かれます。「ボランティアやよ、綺麗になると気持ちええでしょう」と答えます。皆さん嬉しそうな顔を

してくれます。雑草を抜いていると手伝ってくださる方もいてとてもありがたいことです。

もうひとつ、昨秋、北野田駅前赤い羽根共同募金に立った時のことです。募金をして下さる方が少ない中、袋に薬が沢山入って

いるのが見える、杖をついた男性が千円を出してくださいました。私は思わず「そんなに沢山でなくてもいいですよ、お薬がいっぱいで大変ですね」と言いますと、「あんたは優しい人やなあ」「いえいえそんなことはありません、どうぞお体をお大事にしてください」「ありがとう、ありがとう」と、共同募金に立つことは心の修行だと思っている私には嬉しい一日になりました。

いきいきサロンなどで参加者から「楽しかったよ」と声をかけられるのも短い会話ですが、心のキャッチボールできますね。

さあ、また一生懸命お手伝いしますね。

## 皆さんの自由投稿 お待ちしています

エッセイ、川柳、短歌、俳句、など日常の感慨や貴重な体験談を、また民生委員児童委員連合会にたいするご意見やご質問などお寄せください。

みんじれん堺 編集委員会

## 高齢者を地域全体で支える 保健福祉のしくみづくりに 向けて

堺市健康福祉局長寿社会部高齢施策推進課  
課長 神原 富雄

高齢化の進展により、団塊の世代が75歳以上となる平成37(2025)年に向けて、地域で医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム(高齢者を地域全体で支える保健福祉のしくみ)の構築が求められています。

平成27年4月の介護保険制度改正では介護保険料の改定などとともに、これまで全国一律の基準で行われていた介護予防サービスの一部を市町村が実施することになります。これにより、市町村では生活支援サービスの充実とあわせて多様なサービスが提供できるようになります。高齢者の地域活動への参加は自身の生きがいや介護予防等になるだけでなく、このようなサービスの担い手としても期待されることから、積極的な取組が求められています。また、在宅医療と介護の連携や認知症施策についても充実されます。

これらの取組も含めて、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、平成29年度までの3年間の取組をまとめた「堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を平成27年3月に策定しました。これからの高齢者施策の推進には、民生委員児童委員の皆様の声かけ、見守り、専門機関へのつなぎといった日頃の活動がますます重要となります。計画の基本理念である「安心してすこやかにいきいきと暮らせるまち 堺」の実現に向けて、皆様のお力添えをいただきながら、ともに取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。



## 子ども見守り隊のこと

「校長先生おはようございます」、「〇〇さんおはようございます」小学生の大きな声が校門前の交差点に響き渡ります。

ほとんどの子どもたちが、見守り隊の方の顔を見ながら挨拶を交わしていきます。

毎朝繰り広げられる光景ですが、見ていて何となくすがすがしい気持ちになります。

見守り隊の方が「私はこの子どもたちに、元気をもらっているんですよ。顔を覚えてもらって普段でも挨拶されます」と言われました。(M.S)

## Let's 頭のストレッチ

- ①新聞や雑誌の上に乗っている鳥はなんでしょう。
- ②お祭りのときに着ていると幸せになる着物はなんでしょう。
- ③雨が降ると、軒下にいる鳥はなんでしょう。
- ④一年中、はだかで暮らしている鳥はなんでしょう。



「さかい利品の杜」が、3月にオープンしました。ビジュアル感溢れる新しいタイプの博物館で、堺で生まれた千利休のおもてなし、与謝野晶子の創作の原点を楽しみました。

特集「高齢者の見守り活動」では、校区いろいろ、事情もいろいろ異なりますが、ニーズに合った対応には、日々、小さな活動を積み重ねることが大切であることを改めて感じました。

原稿のご執筆にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

一年に2回配布される「みんじれん堺」を楽しみにしていただけるよう、編集委員一同頑張っています。  
(藤井 佳津子)